

目次		頁	特記事項
はじめに		4	
第一章	ご恩に報いるために	6	依経段—お釈迦様の教え
第二章	お念仏は「如来行」	19	「正信偈」とは
第三章	私達を呼び覚ます光	32	『大無量寿経』
第四章	本願名号〈南無阿弥陀仏〉の救い	49	名号による救い
第五章	念仏者は弥勒菩薩に同じ	63	親鸞聖人の心境の深まり
第六章	「如来」とは何か？	77	仏はお釈迦様だけではない
第七章	人生の荒波を超える道	91	生と死の意味づけ
第八章	尊くかけがえのない者たち	104	愚かさに帰る
第九章	お念仏の道を伝えた高僧たち	118	七高僧の浄土教開顕
第十章	龍樹菩薩（一）大乘の巨人	131	依経段—七人の高僧論釈
第十一章	龍樹菩薩（二）易行道の行き方	144	一切は「空」、絶望からの「易行道」
第十二章	天親菩薩（一）真実のはたらき	157	帰命し浄土に生まれる
第十三章	天親菩薩（二）一心の功德	171	阿弥陀仏の功德
第十四章	曇鸞大師（一）大乘仏教の極致	184	「易行道」のころ
第十五章	曇鸞大師（二）他力のころ	197	主体は阿弥陀様
第十六章	道綽禪師（一）末法を生きる	211	自分にふさわしい教え
第十七章	道綽禪師（二）救われない理由	226	仏様の前ではあるがままに
第十八章	善導大師（一）浄土教を救った高僧	239	『観無量寿経』、仏、凡のために説く
第十九章	善導大師（二）無量寿仏の名をたもて	252	極悪人に念仏を
第二十章	善導大師（三）仏さまに認められて生きる	265	親鸞聖人は「海の思想家」
第二十一章	善導大師（四）阿弥陀仏に遇う	278	「なんまんだぶ」の仏
第二十二章	源信和尚（一）日本浄土教の黎明	292	平安文化の精神的支柱
第二十三章	源信和尚（二）仏様に背きながら	305	極重悪人の救い
第二十四章	法然聖人（一）父の遺言を胸に	318	私度僧「聖」（ひじり）の道へ
第二十五章	法然聖人（二）四十三歳の回心	330	称名念仏は万人を救うか？
第二十六章	法然聖人（三）回心の内景	344	法然聖人「浄土宗」を開く
第二十七章	法然聖人（四）善悪を超えた世界	357	法然聖人『選択本願念仏集』を著す
第二十八章	法然聖人（五）深く信ずる心	370	深心と深信

はじめに（要旨）

「証信念仏偈（正信偈）」は、浄土真宗の宗祖・親鸞聖人が『顕浄土真実教行証文類』『行文類』の末尾にお示しくくださった、六十行百二十句のお歌です。私ども浄土真宗の門徒にとっては、最も親しみ深いお聖教です。父は、「親鸞聖人のみ教えは全て正信偈に込められている」と申しておりました。

令和五年（2023）はご本山（西本願寺）で親鸞聖人誕生八百五十年・立教開宗慶讃法要が厳修されます。記念の年に刊行されますご縁をよろこび、御同行とともに読ませていただこうと思います。